

【合同巡検】

7 月 2 日、3 日にかけて青森県で合同巡検を行った。主な活動として 2 日には、三内丸山遺跡の見学と浅虫海岸の下見を、3 日には、生物実習を行った。三内丸山遺跡では、縄文時代の生活や文化について学び、生物実習は各班に分かれそれぞれの実験を行った。

〈三内丸山遺跡〉

三内丸山遺跡では、ボランティアガイドによる説明の他、自由見学を行い、それぞれが知識を深め、縄文時代のように思い浮かべていた。

①ボランティアガイドによる説明

ガイドによる説明を受け、一つ一つの建造物の工夫されたつくりやお墓の埋葬の仕方によって考えられる縄文人の考えや風習の仮説を詳しく知ることができた。地理や文化等の様々な面から説明をいただけたため、当時の様子について想像していた人も多かっただろう。また、写真や映像を見るだけでは実感できない建造物の大きさや迫力を間近で体験できたと思う。

現在の発掘調査の状況についても教えていただき、今後新たな発見があり、これまで有力とされていた考えが覆される可能性があることを学んだ。



②自由見学

主にレポートの資料集めや、個々の気になる場所を訪れ知識を深めていた。さんまるミュージアムでは、三内丸山遺跡から出土した重要文化財約 500 点を含む総数約 1,700 点の遺物に触れ、縄文時代の人々の生活を身近に感じることができた。

全体を通して、今回の三内丸山遺跡の見学では、合同巡検前に行われた考古学講演会で講師の佐藤さんが語っていた「歴史は常に変化している」ということを実感できたのではないだろうか。また「科学の目」で様々なものを様々な視点から見ることで多くの発見があったのではないだろうか。この見学で得た知識を今後の学習に活かしてほしい。

〈生物実習〉

7月2日に浅虫海岸の下見を行い、その翌日生物実習を行った。どの班も活発に実験や調査を行っていた。

①班活動

事前に計画していた内容をそれぞれ懸命に実行していた。調査する生物が見当たらなかったり、思うような実験結果がでなかったりといった班も見られたが、集中して実験をし、予測していなかった事態にも臨機応変に対応していた。そんな中でも、イワガニやイトマキヒトデを見つけて朝からハイテンションな男子たちの姿も見られた。自分たちで考えて調べることの難しさ、楽しさが実感できるよい機会になったと思う。

②浅虫海岸

・干潮 ， 満潮

下見の際は満潮で生物が見られず不安になる人も多くいたが、実習時は干潮で、見かけられて一安心という場面も見られた。下の二つの写真は同じ場所を写したものだが、その差は一目瞭然である。



満潮時



干潮時

・海岸の様子

波は穏やかで実習しやすい状態であった。岩の上には密集したムラサキインコガイやタマキビが見られ、陰にはヒトデやカニも見られた。だが、クラゲも発生していたため、刺されたという人も少なからず見られた。もっと安全に注意して実習を行ってほしかった。

これから実習で得たことをもとにレポートの作成に入っていく。仲間と協力して充実したレポート、ポスターを完成させてほしい。

編集後記

皆さん合同巡検はいかがだったでしょうか？一高での初の宿泊活動、楽しい思い出もたくさんできたと思います。三内丸山遺跡での見学、生物実習は有意義な活動になったと思います。しかし、課題も多く見られたのではないのでしょうか。掲示板に掲示されているメッセージを読みましたか？生物実習前の集合など心当たりはそれぞれあると思います。レポートやポスターの提出など早めに準備をしておくことが大切です。74回生全員でまとめ活動を頑張っていきましょう！！